

これまでの運動に確信をもって 府政の転換をめざそう

5月9日(日)大阪市内の北区民ホールで、「橋下 府政2年の「実績」を検証 シンポジウム」が開催され、30人を超える参加者があ



府政シンポジウム

30人を超える参加者があつきました(明るい民主大阪府政をつくる会主催)。奈良女子大学の中山徹先生がコーディネーターとして問題提起を行い、各パネラーより発言が行われ、東大阪金屋加藤グループの代表が切り返し、各パネラーは切り返しに答えて、大阪府が中小企業対策に力を入れるべきと発言しました。朝日新聞編集委員の竹信三恵子さんは、雇用劣化不況について解説し、橋下知事は職員いじめで人気を集めているが、大規模開発で雇用が増えない、住民が自分の鬱憤晴らすために長を争うのはやめよう、働く場をつくらなければならない、と明快に語りました。大阪教職員組合委員長の中野寛さんは、「橋下教育、教育予算の削減、エリート校づくりなど具体的な資料を提供しながら府民の願いとは正反對の橋下、教育改革に怒りが広がっている」と語りました。日本共産党府会議員の宮原威さんは、この間削減された府民施策について解説し、橋下知事の異常な大企業中心主義と競争主義を指摘、自由と民主主義に敵対する橋下知事の数々の発言にもふれつつ、この間の運動の成果にも確信を持ち、医療・福祉・教育の充実、雇用拡大、中小企業を大阪の主役に訴えました。



世界中から ニュークなアピール

青年部長 堀野英昭さん

5月3日からニューヨークの国連本部で核不拡散条約(NPT)再検討会議が4週間の日程で開かれています。このNPT再検討会議の成功に向けて様々な国際共同行動が取り組まれました。4月30日・5月1日の2日間には国際平和会議が開かれ、すべての核兵器を2020年までに禁止する核兵器条約の交渉を開始するようすべての政府に呼びかける声明を採択しました。開会前日の2日には、ニューヨーク市の中心部タイムスクエアで、「核兵器のない世界のための国際行動デー」に、世界から核兵器廃絶の願いを持ち寄った諸行動が繰り広げられました。集会は一万人を超え、参加者があふれました。集会后は国連本部までパレードしました。3日には国連本部での核兵器廃絶を呼びかける署名行動、4日には、女性・青年のつどいや、現地平和運動家との交流、「核兵器のない世界」の署名の提出行動(原水協)で、一番の大きな集会と

ニューヨークは、とても暑く、汗をかきながら活動が多かったです。ニューヨークでの活動の中で、特に印象に残っているのは、5月3日のNPT再検討会議開催に合わせ、前日に行った2日の大パレードでした。それは、私が見た中で、一番の大きな集会と

一日の夜にニューヨークに着いて、時差ほけもある中で長時間のパレードでしたが、終了後は、つかれよりも、まわりの活気溢れる雰囲気の中で、これから日本でも平和に関する活動を行って、この想いをつなげていきたい、そんな気持ちになりました。大きなパワーをもらったような気がします。今回のニューヨーク行動は、核廃絶をうたえるだけでなく、私の心に大きく響くものがありました。みなさんの平和の想いをのせた貴重なパレードで、ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

核兵器のない世界へ とどけよう日本から

●●● NPT (核不拡散再検討会議) レポート ●●●



参加したみんなそれぞれが、看板や、横断幕をかかげたり、グッズや衣装を纏いながらのアピール行動で、人の多さとニューヨークの暑さ、汗をかきながらの活動が多かったです。ニューヨークでの活動の中で、特に印象に残っているのは、5月3日のNPT再検討会議開催に合わせ、前日に行った2日の大パレードでした。それは、私が見た中で、一番の大きな集会と

被爆国日本から 力強く訴えよう

母子センター支部長 宮垣夏子さん

今月初めて参加させていただきました。行く前に参加した動機として亡くなった祖父が戦争経験者で、祖父から戦争の話をお聞きしました。

5月3日、おおさか9条の会主催の憲法記念日のつどい「世界に響け、九条の心」今こそ力強く、が、エルおおさかで開催されました。会場は1200名の参加者で満員になりました。

世界に響け 九条の心今こそ力強く

呼びかけ人の松浦恒郎さん(日本カトリック正義と平和協議会会長)は、挨拶と三二講演で、「軍力で国を守ることをやめよう」という確信を持つ世論を広

「安全」でもない、新しい道の模索が現実には始まっており、それは日本憲法と同じ理念であり、世界の流れと同じ憲法9条を守っていきましょつと訴えられました。

シリーズ 特勤 ⑥



計量 検定所

タクシメーターは計量法で検査を受けること

検査環境の 安全対策を

が義務付けられ、大阪の検査台数は年間2万5000台を超え東京について全国2位です。検査を行う時は、エンジンをかけた状態で円周2mの検査用ローラーを時速50kmで疑似走行させます。ローラーが高速で回転する一定の改善をしていきます。

産業技術総合研究所 「独法化」撤回せよ

4月21日、府当局は、本部・支部・分会に対して産業技術総合研究所(産技研)の地方独立行政法人への移行(独法化)を提示しました。想定されるスケジュールは、法人の種別(公務員型か非公務員型を決定)を含めた定款を平成22年9月府議会に提案・議決、平成23年2月府議会に中期目標・職員の引継ぎ条例案など、平成24年1月に移行(目標)となつていきます。

専任通訳者の正職員化要求

大阪障がい者職業能力開発校手話通訳分会

大阪障がい者職業能力開発校手話通訳分会は、4月22日所属長あて分会要求書を提出しました。①能力開発校では専任通訳者が3名、時間通訳者が16名の体制で、聴覚障がい生徒の情報・コミュニケーションを保障するため、専任通訳者の募集要項では、1日6月、週1日勤務で年収230万円から240万円、また、昨年、急性期総合医療センターの募集要項では月額20万円です。府直雇用になるまえには大阪聴力障害者協会に委

自治労連医療部会新採歓迎大交流会



4月10日(土)、恒例の大阪自治労連医療部会主催の新採歓迎「パーベキュー」大交流会が、岸和田市・牛滝温泉の、いよやかの郷で行われ、大阪府下の自治体病院から130名を超える参加者があり、府立病院労組からは、全支部から新採、旧採を含め、40名を超える方が参加しました。当日は初夏を思わせる汗ばむ陽気で、まさに「パーベキュー」日和になりました。府立病院労組はチャ

元気ハツラツ 楽しく交流、お腹いっぱい

現業評議会

温泉&パーベキュー 日帰りバスツアーを開催

4月24日(土)、府職労現評はレクリエーション企画として、京都南丹市園部町にある「るり溪温泉」で温泉&パーベキューを開催し、日帰りのバスツアーを開催しました。パーベキュー前にさそく温泉に入った、周辺散策を愉しみました。パーベキューは屋根付きの本格的な場所です。4月末とは思えない気温の中、用意された炭火で暖をとるながらのパーベキューとなりました。が、ボリュームたっぷりの本格的な食材に舌鼓を打ちながら、楽しく過ごしました。